

# 平成23年度施策の 実施状況について (その1)

平成24年3月22日  
広島湾再生推進会議



目標1：森・川・海の健やかな繋がりを活かし、豊かな広島湾を保全・再生する。

## 水環境の再生

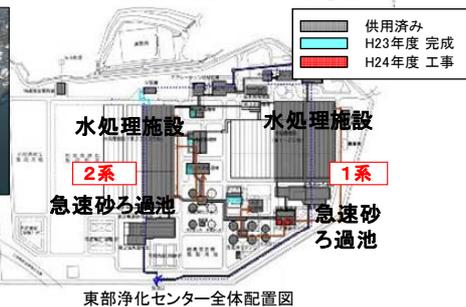
継続

### 太田川流域下水道東部浄化センターにおける高度処理の導入推進(広島県)

下水処理場  
高度処理供用開始時期



計画放流水質：  
BOD 6mg/L  
T-N 13mg/L  
T-P 0.8mg/L

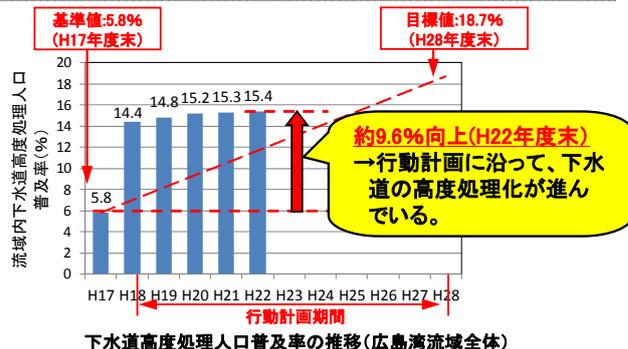


平成23年度は、太田川流域下水道東部浄化センターの処理施設(2系：高度処理)の増設工事(水処理施設、汚泥処理施設)を実施。

### 処理方式

- 1系** 標準活性汚泥法(微生物の作用により有機物を分解・浄化)
- 2系** 2系の処理施設については、凝集剤併用型循環式硝化脱窒法(窒素やリンの浄化率が高い)による高度処理の導入を推進

1系と2系で合計  
148,380m<sup>3</sup>/日の  
処理水量

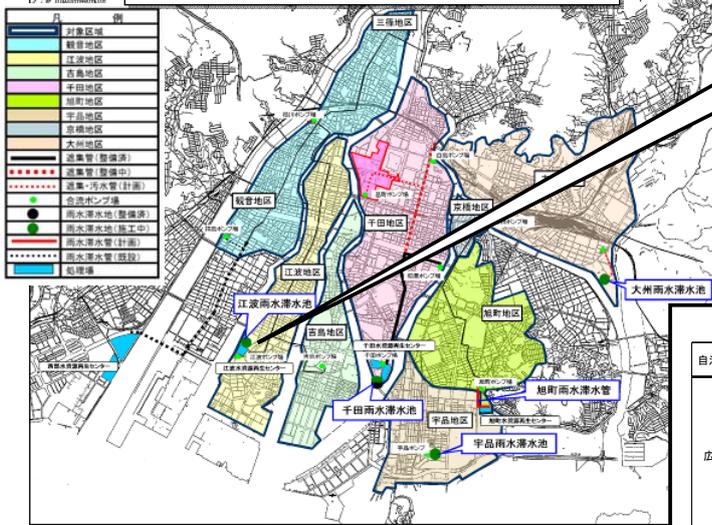


水環境の再生

継続

合流改善の推進(千田、江波、宇品、大州地区)(広島市)

合流式下水道緊急改善計画図(H22~H26)



雨水滞水池の建設(江波地区;広島市)  
→初期雨水約16,000m<sup>3</sup>の貯留能力



広島湾流域内の合流式下水道改善計画の一覧

自治体名	地区名	対策内容	行動計画期間																
			計画年次																
			H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28					
広島市	千田地区	雨水滞水池、遮集管(鶴見・白鳥)の建設																	
	江波地区	雨水滞水池の建設、スクリーン目枠の縮小																	
	宇品地区	雨水滞水池の建設																	
	旭・翠地区	雨水滞水池の建設																	
	大州地区	雨水滞水池、遮集幹線の建設																	
呉市	新宮処理区	雨天時下水活性汚泥処理法の採用																	
大竹市(和木町)	大竹処理区	雨水滞水池の建設																	
岩国市	一文字処理区	高速ろ過の導入																	

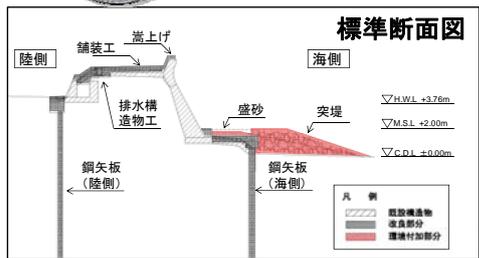
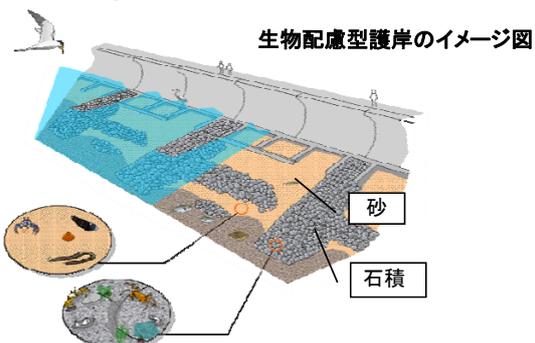
平成23年度は、江波地区、宇品地区、大州地区(雨水滞水池)、千田地区(雨水滞水池、白鳥幹線遮集管)の建設工事を実施。

行動指標の目安(8地区改善)に対し計画どおり進捗。

生物生息・生産の場の保全・再生

継続

生物生息を考慮した護岸整備(直轄海岸広島港海岸)(中国地方整備局)



**<整備の内容>**  
・高潮による浸水被害や、液状化被害を防ぐための護岸整備にあたり、生物生息機能を創出する構造を付加。

- ・広島港海岸において、高潮被害や液状化被害の防止のための対策事業を実施中。
- ・事業の実施にあたっては、高潮被害や液状化被害の防止機能の確保に合わせて、生物生息機能を創出する護岸の構造を付加。
- ・平成23年度に完成予定の整備延長は200m。

目標2：人と海との繋がりを取り戻し、親しみやすい広島湾を再生する。

魅力ある親水空間の創出

継続

広島港宇品地区の荷捌き地等を活用した、市民が親しめる賑わいのある  
新たな水辺空間の整備(広島県、広島市)



- ・優れた景観と港湾倉庫群が波止場の雰囲気醸成す同地区の潜在的可能性を活かして、クルーズ客船の受入体制の充実、コンテナヤード跡地と宇品波止場公園の一体的再整備、荷捌き地及び既存の県営港湾倉庫(宇品中央3号,4号,5号上屋)の賑わい施設として活用。
- ・平成23年度は、宇品中央3号上屋の事業者を決定。
- ・地域を知り、親しみを持ってもらうため、「宇品デポルトピア」に愛称を決定。

目標2：人と海との繋がりを取り戻し、親しみやすい広島湾を再生する。

魅力ある親水空間の創出

継続

広島湾内のみなとオアシスにおける各種イベント等の実施  
(坂町、江田島市、広島市)

みなとオアシス ベイサイドビーチ坂



ビーチサッカー



本場のプロによるサンバ

- 【みなとオアシス ベイサイドビーチ坂】**
- ・リオdeビーチカーニバルinベイサイドビーチ坂の開催
  - ・ビーチバレーやサッカー、ライブ等の多数のイベントを開催。

- 【みなとオアシス えたじま】**
- ・広島県として14番目の仮登録。
  - ・港湾施設に隣接する小用みなと公園を活用し、青空市及びそれに付随したイベントの開催を通して地域交流を活性化を図る予定。

みなとオアシス えたじま



仮登録認定式典

みなとオアシス 広島



港の活性化に向けたワークショップ

- 【みなとオアシス広島】**
- ・みなとオアシスの中核施設である宇品旅客ターミナルにおいて、ボランティアの学生らによる「みなと活用ワークショップ2011」を開催し、広島港を陸・海の両方からの視点で見学し、最終的にグランドプリンスホテル広島において、今後の広島港の活用方策についての提言をとりまとめた。

目標2：人と海との繋がりを取り戻し、親しみやすい広島湾を再生する。

魅力ある親水空間の創出（眺望点の整備・修復）

新規

宮島 弥山山頂の展望台の整備【環境省(広島県施行委任)】



弥山展望台の完成イメージ図



弥山山頂からの眺望

- ・宮島の弥山山頂に整備された展望台の建て替えを予定。
- ・現在の展望台は建築後50年近く経過し老朽化が進んだことから、広島県による解体後、環境省の直轄事業として整備予定。
- ・現在、展望台の建て替えに向けて対応をすすめているところ。

目標2：人と海との繋がりを取り戻し、親しみやすい広島湾を再生する。

魅力ある親水空間の創出

継続

水の都ひろしまづくりの推進(中国地方整備局、広島県、広島市)



春期水辺のコンサートの様子



京橋川オープンカフェ(独立店舗型)



元安川オープンカフェ(独立店舗型)

- ・平成23年度は、引き続き原爆ドーム対岸親水テラス等において水辺のコンサートを開催。
- ・また、引き続き京橋川オープンカフェ、元安川オープンカフェを実施。

京橋川右岸側の既設独立店舗型オープンカフェの再公募(平成23年度)



元安川オープンカフェ(独立店舗型)



目標2：人と海との繋がりを取り戻し、親しみやすい広島湾を再生する。

親水空間の利活用の活性化

環境学習、シンポジウムやフォーラムなどの開催・支援  
 ～小学生を対象とした広島港見学会の実施(中国地方整備局)～ **新規**



パンフレットを活用した港の役割の説明



ターミナル屋上からの広島港の見学

・日常、港に来る機会がほとんどないという庄原市の小学生を対象に、広島港の必要性や施設のしくみについて理解、関心を高めてもらうための、広島港宇品旅客ターミナルにて広島港見学会を実施。

～海から見る環境学習の実施(中国地方整備局)～ **新規**



広島港湾・空港整備事務所  
 船舶「りゅうせい」への乗船



普段見ることがない、  
 海上から広島港を見学

・「エコまつり”環ッハッパinよしじま”」において広島港湾・空港整備事務所所有船舶「りゅうせい」により、地元小学生に対し広島港における環境学習を実施。

「エコまつり”環ッハッパinよしじま”」  
 イベントの一環として開催

目標2：人と海との繋がりを取り戻し、親しみやすい広島湾を再生する。

親水空間の利活用の活性化

**継続**

広島湾の環境学習副読本の活用



環境学習副読本「私たちの広島湾 森・川・海のつながり」



環境学習活動

- ・平成23年度は、平成22年度に作成した広島湾の環境学習副読本について、広島市教育委員会を通じ小学校の授業で試用することにより、学習効果や使用感等の観点から改善事項等がないか、モニター調査を行った。
- ・また、関係機関やNPO・市民団体等が連携するなど、引き続き川や海における環境学習活動を推進。

自然景観、歴史・文化的資源を活用した保全

新規

「瀬戸内・海の路の利用振興」モニターツアー  
(瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会)

【モニターツアー内容】

「平家・源氏の歴史と浪漫を探訪と体感するクルーズ」

■ルート

大竹(小方)港【大竹市】、宮島口港【廿日市市】、広島港【広島市】 発～音戸漁港【呉市】～柏島沖～大久野島【竹原市】～岩城漁港【上島町】～宮窪漁港【今治市】～大竹港、宮島口港、広島港

■ポイント

- 航路事業者の定期航路に使用される船舶の予備船を活用
- 災害時に活用されることによる付加価値を高めるため、新規航路の開拓や漁港棧橋等の施設を活用

モニターツアーで使用した予備船



全長:21.12m  
全幅:6.30m  
速力:27ノット  
総トン数:52トン  
最大搭載人員97名(1.5h) 90名(6h)



モニターツアー

- ・防災ネットワーク機能の強化(平時の観光ルートとしての「海の路」が、災害時には人員・物資輸送ルートや被災者の緊急搬送ルートとして活用が可能)を視野に入れた瀬戸内・海の路の利用振興に向けた取り組みの一環として、モニターツアーを実施。
- ・実施にあたっては、「平清盛」ゆかりの観光ルートの新たな開拓や防災の視点から各着船施設の機能等を検証(3月18日実施)。

ごみの回収・処理、発生源対策の推進

継続

市民連携による清掃美化活動の推進

「リフレッシュ瀬戸内」清掃活動  
(瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会)



50トンのごみを回収

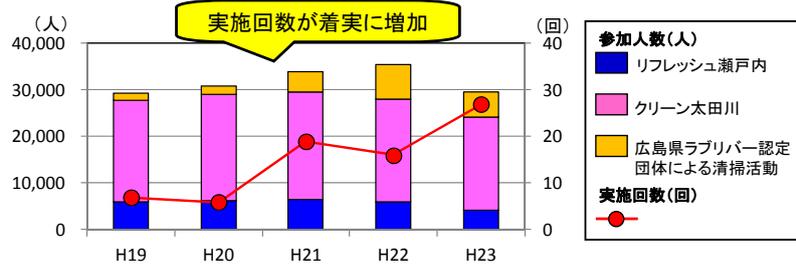


「クリーン太田川」清掃活動  
(クリーン太田川実行委員会)



17トンのごみを回収

広島県ラブリバー認定団体による清掃活動(広島県)



清掃美化活動の参加人数及び実施回数の推移

注)実施回数はリフレッシュ瀬戸内とクリーン太田川の合計

- ・引き続き行政機関と市民、NPO等との連携による河川、海岸での清掃美化活動を様々な場所で推進。

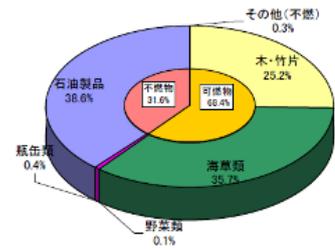
ごみの回収・処理、発生源対策の推進

継続

海洋環境整備船「おんど2000」による海洋漂流ゴミの回収(中国地方整備局)



海面清掃船「おんど2000」



潮目に集まる海洋漂流ゴミの様子



流木の回収状況



回収されたゴミの陸揚げ状況

・平成23年度は年間約1,600m³のゴミを回収し、昭和49年より実施している回収量の中で過去最大であった。また、「おんど2000」を活用し、水質調査(年4回)、底質調査(年1回)や広島湾水質一斉調査を実施しており、その結果は広島湾再生の状態指標へのフィードバックやホームページに掲載し、学術研究資料として役立てられた。

ごみの回収・処理、発生源対策の推進

新規

海底耕耘及び海底堆積物の除去(廿日市市)



海底耕耘、海底堆積物の除去区域(4.0km²)



【海底耕耘作業の装具】

小型底曳網漁船による海底耕耘作業

期待される効果:

海底耕耘により海底表層部(底質)への酸素供給が促進され、底質および海域下層部の貧酸素状態の改善が図られる。

・平成23年度は、廿日市市を事業主体とし、海底耕耘と漁場に堆積した生活廃棄物等を除去することにより、漁場環境の維持・回復による漁場の生産量向上を図った。